

鳥屋野交通公園
事業計画書・収支計画書 概要版

団体名	公益財団法人新潟市開発公社
経営理念・経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・公園緑地に関する啓発、利用促進を通じて市の発展に寄与 ・得られた利益はすべて市民や新潟市のために活用・還元
指定管理者申請の動機	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設設置目的と整合性が非常に高いわたしたちの目的、それぞれを実現するため指定管理者として応募
指定管理業務に係る 事業計画 <ul style="list-style-type: none"> ・運営方針 ・集客計画 ・入館者数及び利用料収入見込 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「施設設置目的の達成と施設の適正な維持管理」をはじめ、7つの基本方針と実施計画のもと運営を実施 ・SNS や市報等の活用による幅広い広報活動 ・新潟市勤労者福祉サービスセンターを通じて、中小企業の福利厚生（ゴーカート乗車クーポンの配布）に協力 ・上記取り組みと各種自主事業の実施で、ゴーカートの年間利用台数 45,000 台を目指す
自主事業を実施する場合の事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームカー運行、ストライダー無料レンタル ・自動販売機やガチャガチャの設置 ・鳥屋野交通公園フェスタの開催 ・交通安全週間 PR イベント
サービス内容	[ゴーカートの運行日及び運行時間] <ul style="list-style-type: none"> ・3月第2金曜日～11月第3日曜日の金・土・日・祝 ※夏休み（7月25日～8月31日）は毎日運行 ・午前9時～午後5時 ・春休みの毎日運行と夏休みの毎日運行期間の変更を提案
収支計画	<収入> 5年間合計（単位：千円） <ul style="list-style-type: none"> ● 指定管理料 82,500 ● 自主事業会計からの充当 2,558 ● 指定管理者負担分 0 ● 自主事業収入 15,815

	<p><支出> 5年間合計（単位：千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人件費 38,235 ● 管理費 45,823 ● 諸経費 1,000 ● 自主事業費 15,013
組織・人員体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公社内の多様な専門部署を活用し、よりよい公園づくり ・ 施設管理経験豊富な施設長を配置 ・ 鳥屋野運動公園と連携することで緊急時に対応可能
賃金水準スライドの反映方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最低賃金を上回る賃金の設定により、職員の安定雇用と労働環境の向上を図る
雇用・労働条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働関係法令に適合した公社規程に基づき雇用・就業 ・ 法令改正時は、労使協議のうえ、速やかに対応 ・ 育児との両立など、多様化する働き方に柔軟に対応
安全確保及び緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員が救命講習を受講し、適切な一次救命措置を行う ・ 利用者だけでなく職員の熱中症対策を徹底 ・ 緊急時に鳥屋野運動公園に報せる非常用ボタンを携帯
要望・苦情への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート、さわやか施設提案箱、問合せメール、理事長への手紙等、様々なツールを用いて意見・要望を把握 ・ 要望や苦情は重要度に応じて分類し、公社一丸で対応 ・ 内容に応じて、速やかに市所管課に対応を協議
個人情報の取扱い コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報保護規程を整備し、全職員が研修を受講 ・ eラーニングを活用したコンプライアンス研修を実施
環境保護の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設照明を順次 LED 機器に更新し、省電力化を実施 ・ 社内ネットワークを構築し、事務の IT 化を図る ・ ゴーカートの廃タイヤを衝突緩衝材等に再利用
社会貢献活動の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65 歳までの継続雇用を認める高齢者雇用安定法への対応 ・ 春秋の全国交通安全週間への積極的な協力 ・ こども 110 番、にいがた救命サポーター等への登録 ・ 地域清掃ボランティアへの積極的な参加
地元経済振興及び雇用確保の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品や備品は域内業者や福祉団体等から購入 ・ 職員親睦会で、「新潟市・佐渡市共通商品券」を購入 ・ 施設に設置する自動販売機は地元業者と契約 ・ 地域活性化を主眼におき施設近隣在住の方を優先して雇用